



## 神名大典 会長

本日をもって一年間の会長職を全うすることができ感無量であります。会員の皆様、とりわけ理事・役員・委員長の皆様方には一年間大変お世話になりました。その中でも幹事の池田君と事務局の安井さんには、難しいことをみんな丸投げし、ご迷惑をおかけしたこと申し訳なく思っております。年度当初にRI会長 シェカール・メータ氏のテーマ SERVE TO CHANGE LIVES「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」と第2680地区ガバナー 吉岡博忠氏のテーマ

For the dynamic Leaders of futures with Rotary「ロータリーとともに活力に満ちたリーダーを育てるために」というテーマを受けて、会長方針を二宮尊徳翁の言葉から、「心の田畑を耕そう」とさせていただきます。COVID-19の影響により疲弊した心を耕し、空気と養分を取り入れ、肥沃な心を取り戻す一年にしたいと願ったからです。

この方針に沿って、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言中においても、ハイブリッド例会やリモート例会で対応し、一年間休会することなく、例会が開催できた事が一番の喜びです。

また、「心田を耕す」の観点から、親睦事業においても、観月例会、クリスマス家族会、創立記念例会、親睦家族旅行、そして最後の家庭集会まで予定通り実施することができました。これも会員の皆様方のご理解・ご協力があったからこそと感謝いたしております。

本年の重点事項としておりました

- ・例会を意義ある楽しいものにし、「来てよかった・有意義だった」と思える例会にする
- ・創立以来の「親睦こそ我がクラブ」の精神に則った親睦活動に力を入れる
- ・会員増強・退会防止に努める

の三点について、至らなかつた点もありますが、精一杯務めさせていただきました。皆様方のご協力に再度感謝申し上げ、私の退任挨拶とさせていただきます。



## 本條昇 副会長

(クラブ奉仕委員長)

(会員増強委員長)

先ず以て今年度、クラブ奉仕委員長並びに会員増強委員長のお役を頂きましたことに改めて感謝申し上げます。

今年度のクラブ運営は、昨年に続いてコロナ禍の影響を大きく受ける難しい舵取りとなりました。が、ワクチン接種や感染対策マナーなどの世間情勢を勘案しつつ、感染状況に臨機応変に対処することで活

動の持続を図りました。

例会は、昨年来の試行錯誤の結果、ハイブリッド形式の定着により緊急事態宣言下でも一度も休止することなく継続することができました。また、会場レイアウトを工夫することでパーティーなしで対面での歓談が復活しました。

例会案内や理事会資料等、会員間の情報共有も、従来の紙ベースから電子メールに移行したことから、よりタイムリーで効率的な連絡が可能となりました。

年間を通して先行き不透明な中、例会行事並びに親睦行事は都度の見直しを余儀なくされましたが、実りある事業が何れも中止されることなく実施いただけたことは幸いでした。これも偏に神名会長・池田幹事のリーダーシップと担当委員会のご尽力、そして会員各位のご協力の賜と、心より感謝申し上げる次第です。

会員増強は、積極的なアプローチが叶わぬ状況下、残念ながら大きな進捗はありませんでした。8月の会員増強委員会アワーでは、地区・会員維持増強委員会から梅原可奈子委員長と松嶋洋子委員を招聘して、独自の視点からこれからの女性会員増強について卓話を頂いた所です。新会員については現在進行中のお話もあり、次年度に期待したく存じます。

一年を振り返って、私にとっては貴重な学びの機会となり、これからのロータリーライフを送るうえで有意義な経験となりました。理事・役員始めお世話になりました皆様のご厚情に御礼を申し上げまして、退任の挨拶と致します。



谷 口 幸 三 SAA

Zoomによる例会、そして昼食無し例会も何回かはありましたが、ほとんど通常の形での例会を開催することができました。また、「親睦こそ我がクラブ」のモットーの下で懇親会も数回開催することができました。

残念なことに5名の退会があり会費の逼迫感がありましたが、会員皆様方の「ニコニコ箱」へのご協力に感謝申し上げ退任の挨拶とします。



職業奉仕委員会 高 田 真 也 委員長

2021-22年度の職業奉仕委員長の高田です。一言退任のあいさつを申し上げます。委員長として皆様に何かをしたというよりも、自分自身がロータリーの理念を勉強できた1年であったと思います。感謝申し上げます。

振り返りますと昨年10月には一色親睦委員長さんとの共同企画として、梅玉で播州の農業の講義を兵庫西農協さんにして頂き、そのまま観月例会に突入しました。会食では播州の秋の実りを皆様とともに味わいました。

今年の1月には職業奉仕委員会アワーとして、職業奉仕を経営、人生に活かすと題して、ロータリーのテキストなどを見返しながらレジュメを作り、つたない発表をいたしました。

今改めて思いますのは、ロータリーの職業奉仕は社会生活のどこにでもある普遍的なものなんだなあ、ということです。一年間、良い勉強をさせていただきました。ありがとうございました。



## 社会奉仕委員会 伊藤 充弘 委員長

社会奉仕委員会の委員長を仰せつかってから、何とかして地区補助金を活用した社会奉仕事業を龍野クラブに定着させたいと考えてきました。

9月9日の委員会アワーでは、地区補助金を受け取るための手順を図表を作成し、会員の皆さんにご理解いただけるように工夫したつもりでした。しかしながら、コロナ禍においてZOOMでの卓話を若い人のようにやってみたいという暴挙に出た結果、画面共有ができないままお話をしてしまうという失敗を犯してしまいました。その節には、皆様にご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんでした。

その為か、新年度も社会奉仕委員長を仰せつかっております。次年度に事業を行おうとしますと、会長エレクトとともに早くから準備をすることが求められます。12月には補助金セミナーに必ず出席して、1月3月と書類提出の締め切りがやってまいります。

私の場合は、本條次年度会長がその道のプロですので、本條次年度と事務局の安井さんにおんぶにだっこ状態で計画書を提出し、無事承認を得ることができております。

企画の内容は、本條次年度会長が以前から関係のあった「はりま自立の家」移転に伴い、地域住民との交流と理解の促進を目的として、演奏会を開催することを計画しております。

10/16（日）14：30から演奏会が始まりますので、今から予定をしておいていただければありがたいと存じます。

次年度もよろしくご協力のほどお願いいたします。



## 国際奉仕委員会 富田 哲雅 委員長

当年度国際奉仕委員会は、ロータリーの国際奉仕に於ける7つの重点分野とその人道支援活動の理解に努める一方、コロナ禍やウクライナ侵攻に対して、改めて国際的な友情と相互理解に基づく世界平和の価値を再認識し、ロータリーの目的である国際理解、親睦、平和を基本にして、次の通り活動して来ました。

1. 12月4日、地区のロータリー研修デーに於いて国際奉仕セミナーに参加し、国際奉仕の現状とロータリー財団の補助金について理解を深めました。また、VTT（職業研修チーム）についても同様に理解しました。
2. 昨年度より延期になっていた神戸東クラブ提唱のグローバル補助金（VTT）について当クラブが12月16日の理事会を経て協同提唱することが決定しました。
3. 2月24日の世界理解月間の例会では、地元のたつの市多文化共生サポートセンターの協力を得て地域在住外国人の現況理解を通じて国際奉仕を考える為の例会を開催しました。

全体として、多々至らない面もありましたが、会員の皆様のお蔭で、無事、予定のプログラムを終えることができました。委員会運営につきまして、会員の皆様に格別にご協力頂きましたことに対し厚く御礼申し上げます。

以上

## 財団委員会 崎野圭子 委員長

財団委員会委員長を賜りながら、その責を全うできずに一年を終えることになりました。この機会をお借りいたしまして心よりお詫び申し上げます。

皆さまから賜りました本年度財団へのご理解ご協力に感謝申し上げます。また、11月の財団委員会アワーには、地区ロータリー財団委員会 丸尾研一委員長に『今更聞けない財団の話』を御高話いただきました。委員会アワーを企画準備くださいました三木政司会員、神名会長、そして池田幹事には大変お世話になり感謝申し上げます。

三木政司会員におかれましては、財団委員会委員長をお願いしましたところ寛容の心をもってご快諾いただきました。あの時の暖かいお言葉は胸に深く刻まれております。心よりご冥福をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

末筆ながら 皆様のご理解ご協力に重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 例会担当委員会 室崎晴之 委員長

本年度も前年度同様にCOVID-19（以下新型コロナの仮称を使用）の影響を受けて、通常の例会スタイルは当分の間困難かと思われましたが、コロナ対策の為にオンラインでの例会を経て、一度も休会することなく、ガバナー公式訪問を境に通常例会に戻しました。例会席次も事務局に協力をお願いし、会長、幹事の助言を仰ぎ無事に乗り切ることが出来ました。

例会担当委員会では、創立記念例会（夜間）を担当し、会員相互の絆を深めました。また、例会担当委員会アワーとして防災対策のゲストスピーカーを迎えて、卓話を実施いたしました。会員数減少の為に、卓話には全会員をお願い致しましたが、卓話のコマがうまらず池田幹事には大変ご迷惑をお掛け致しました。

最後になりましたが会員の皆様、事務局の安井様、一年間お世話になりました。この場でお礼申し上げます。



## 親睦委員会 一色 かつみ 委員長

2021-22年度は、年度当初に計画しました事業を全て実施することができました。時期の延期や直前で内容の変更を行ったものもありましたが、どうにか終わることができホッと致しました。一年間ご協力頂きましてありがとうございました。

休眠状態の昨年に引き続きお受けすることになりましたので、それなりに予備知識が備わっており、各種お祝いの品や、クリスマス例会の引き出物などの品物選び、或いは家族旅行の企画など、結構楽しんでさせて頂きました。

親睦委員長をさせて頂くことで、ある意味、違う側面から龍野ロータリークラブを見ることができたような気も致します。引き続き何かしらのお役が回ってくるようですので、次のシーンでもこの経験を活かすことができたらと思います。ありがとうございました。

## 広報委員会 喜多村 隆 博 委員長

会員の皆様のご協力によりそつなく週報を発行することができました。心より感謝申し上げます。

本年度の広報委員会アワーでは、第2680地区 公共イメージ委員会の田中委員長よりロータリーの認知度の現状から、今後の施策として何が必要かなど、大変有意義なお話を伺いました。

活動は、一般の人々に龍野ロータリークラブをよりよく知っていただく為の施策ですが、究極の目的は会員増強への助力です。将来の新会員となられる人々が、ロータリーへの関心を持っていただき入会してもらえような時代の流れに沿った広報活動がこれからも重要になってきます。

最後になりましたが、委員会の皆様、事務局の安井様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。



## 情報委員会 三 渡 圭 介 委員長

### 活動内容

#### (1) 例会における情報委員会アワー

2021年9月2日例会場において「奉仕をしよう」の題目にて話す。ロータリーの友を読んで他のロータリークラブの奉仕活動を見て龍野ロータリーテリトリーの抱えている問題から我々メンバーの手に合う奉仕を提言する。

- ① 地球温暖化防止への提言
- ② 地域の川と海の現状から豊かな川と海への提言

#### (2) 新会員へのオリエンテーション 二回にわたって4名対象

- ① ロータリーの目的
- ② ロータリーのルール
- ③ 社会奉仕と職業奉仕

#### (3) 「ロータリーの友」への投稿

テリトリー内に災害防止の為に移設をされた「しろう自立の家」の竣工式に参加をした記事を投稿した。



## 池田和由 幹事

「やっと、終わった。やった！やった！」これが今の正直な気持ちです。例会を休むことが出来ない。休めば神名会長が寂しがらるだろうと、1年間一度も休むことなく今日の日を迎えることが出来ました。一番誇りに思うことは、1年間一度も休止にすることなく年初立てた例会プログラムを全てやり遂げたことです。年初はまん延防止が発令され通常とは異なる例会運営が続きました。初の試みであるオンライン例会

会を行った時には回を重ねる度に参加会員が増えていったことはとても嬉しかったです。まずは、コロナ禍におけるクラブ運営にご協力頂いた会員の皆様に深謝申し上げます。

さて、退任挨拶ということですが、申し上げたいことはたくさんあります。神名会長が会長エレクトに選任されたと聞いた時、ヤバいと思いました。もしかしたら僕に白羽の矢が立つのではないかと。予想は当たりました。覚悟は決めつつも神名会長の幹事は僕が一番相応しいと自負しておりました。神名会長は事細かに指示をすることもなく、ほぼ私に任せてくれる大らかな会長でした。言葉を換えればほっとらかしだったと言えるかも知れません。ところが、頼れる会長でもありました。例会プログラムに穴を開けそうになった時、安井さんと暗中模索を繰り返す中、神名会長に相談したところ、僕にも安井さんにも思いつかないことをアドバイス頂いた時には、流石と大変感心しました。また、例会で行う会長挨拶の原稿を毎週事前に僕までメールを送ってくれました。最初はこんなネタもある、ここは修正して欲しいと送り返しておりましたが、すぐにやめてしまいました。会長がこんな些細なことを幹事の私に意見を求めるのかという事柄にも僕に相談してくれたことは大変嬉しく懐の大きさを感じました。会長ネタは最後になりますが、キャリアの少ない私を幹事に取り立てて頂き、成長と経験の機会を与えて下さった神名会長には心より感謝申し上げます。

話は変わり私が幹事として注力したことはいくつかありますが、一番は会長方針である「心の田畑を耕そう」の浸透でした。会員の皆様が肥沃の心を取り戻す一年になりましたら頑張った甲斐があります。親睦の場では会長と私の酔っ払いの二重奏、そこに谷口SAAが加わり三重奏になったことも楽しかった思い出となりました。次に、目配り気配りです。大きな目が二つと耳が付いてはいるものの、行き届かなかった点多々あるかと思えます。そこは大きな気持ちでお許しを頂ければ幸いに思います。そして、理事会の議事録です。議案が可決承認されるまでのプロセス。発言者の名前も記録し、会員からの信頼と付託を受けた責任有る発言を促しました。また、私の後任には荻野会員が決定しており、キャリアは私と同じく長くありません。そんな荻野会員が理事会議事録を読み返すことで幹事としての理事会運営、事業運営の一助になればとの思いで作成して参りました。ご興味のある方は後方にある議事録綴りをご覧ください。

最後に幹事になって良かったと思うことを申し上げて終わりたいと思います。ロータリーの経験値を積めたことが一番ですが、今日お越しの大岩ガバナー補佐、西播第二グループの会長、幹事の皆さんと仲良くなり横の繋がりが持てたことは良かったです。

最後の最後になりますが、事務局の安井さんのご協力が無ければ幹事の職務を全うすることは困難だったと思います。この一年間に安井さんから送られてきたメールは393通。膨大な時間を使って下さいました。安井さんに心より感謝申し上げます。幹事の退任の挨拶とさせていただきます。